

2025年度「深田野外調査助成」FAQ（よくあるご質問）

| | 質 問 | 回 答 |
|----|--|---|
| 1 | 以前に「深田野外調査助成」に採択されました。2025年度も申請することは、可能でしょうか。 | 過去に「深田野外調査助成」に採択された方は、申請することができません。 |
| 2 | 2025年度「深田研究助成」（選考結果4月下旬）に応募しています。「深田野外調査助成」にも応募申請することはできますか。 | 応募申請はできますが、「深田研究助成」が採択された場合は、「深田野外調査助成」の選考対象になりません。 |
| 3 | 外国人学生が、申請書類を英語で記入することは可能でしょうか。 | 申請書は、文字数の制限等が定められておりますので、日本語以外での記載は受付けておりません。 |
| 4 | 助成金の使用期間は、いつからいつまででしょうか。 | 2025年4月1日から2026年3月31日までです。 |
| 5 | 野外調査を5月中旬から行う場合、助成対象に含まれるでしょうか？ | 助成対象に含まれます（上記FAQ 4参照）。ただし、2025年度「深田野外調査助成」の採択決定は、5月末日、助成金交付は、6月中旬です。 |
| 6 | 推薦者や指導教官（教員）の旅費・交通費の申請は可能でしょうか。 | 推薦者や教員の旅費・交通費は、申請対象ではありません（申請不可）。 |
| 7 | 野外調査に出かける時の保険をかける必要はありますか。 | 学部生単独での野外調査時の事故は、学生の自己責任になってしまう可能性があります。助成金使用内訳書の指定欄に、 <u>必ず保険の経費を記載</u> してください。 |
| 8 | 申請書に印鑑の押印は必要ですか。 | 申請書に、押印は必要ありません。 |
| 9 | 申請者の連絡先は、自宅の住所でもよいでしょうか。 | 当研究所からの連絡は、所属機関宛に行いますので、申請者の所属機関の住所を記入してください（自宅住所は不可）。連絡先の住所は、教室番号、教室名もしくは研究室名など、詳しく記入してください。 |
| 10 | 申請書は、申請者本人が送信することができますか。 | 申請者から送信された書類は、受付けることができません。推薦書を記入の上、必ず推薦者のアドレスから（cc:申請者のアドレスをつけて）送信してください。 |

2025年度「深田野外調査助成」FAQ（よくあるご質問）

| | 質 問 | 回 答 |
|----|---|---|
| 11 | 推薦者が、複数の学生を推薦することはできますか。 | 可能ですが、推薦書の推薦理由の欄に、必ず <u>推薦順位</u> を記してください。 |
| 12 | 推薦者が、複数の学生を推薦した場合、申請書をまとめて送信してもよいですか。 | まとめて送信された場合は、受付けることができません。メールの送信は、必ず申請者 <u>1件ごと</u> に行ってください。 |
| 13 | 締切日の締切時間を教えてください。 | 2025年4月11日23時59分までに送信されたメールは、申請を受付けます。 |
| 14 | 申請書は、郵送やFAXで受け付けていただけますか。 | メールに添付していただく以外は、受付けることができません。 |
| 15 | 助成金は、所属機関に振り込まれるのですか。 | 助成金は、申請者本人名義の口座に振込みます。最終的な会計報告も申請者本人が行うことになります。 |
| 16 | 採択後に変更があり、野外調査にもう一人学生を参加させたいです。その学生に対して深田野外調査助成金を充当することは可能でしょうか。 | 申請時の実施体制に記載されていない方への助成金使用は、認めておりません。 |
| 17 | 現在の感染症が拡大して、野外調査が実施できなくなった場合、助成金はどうなりますか。 | 野外調査が全く行われなかった場合は、全額返金を求めます。また、一部を実施して、経費に余剰があった場合は、一部返金していただきます。 |
| 18 | 成果の報告（①調査報告書②ルートマップ、野帳(フィールドノート)のコピーなど③会計報告(調査完了届))の提出は、メールあるいは郵送のどちらか指定はあるでしょうか。 | 調査完了後の、成果報告の提出は、郵送でも、メール添付でも受け付けています。 |
| 19 | 会計報告に領収書の添付は必要ですか。 | 領収書等、信憑書類の添付は求めていません。お手元に保管してください。 |

2025/02/14現在